[別紙A1 1]

A1 班:研究成果公表の状況(2005年3月時点)

1. 著書·編著

- 鈴村興太郎・後藤玲子『アマルティア・セン:経済学と倫理学』実教出版、 2001 年(改装新版、 2002 年).
- Arrow, K., Sen, A. & Suzumura, K. eds., *Handbook of Social Choice and Welfare*, 2 vols., Amstredam: North-Holland, Vol.1, 2002 (Vol.2, forthcoming).
- 鈴村興太郎・塩野谷祐一・後藤玲子編『福祉の公共哲学』東京大学出版会、 2003 年.
- 鈴村興太郎編『世代間衡平性の論理と倫理』東洋経済新報社、近刊。
- 森村 進『自由はどこまで可能か:リバタリアニズム入門』講談社現代新書、2001年.
- 森村 進編著『リバタリアニズム読本』勁草書房、2005年3月.
- 長谷川 晃『公正の法哲学』信山社、2001年.
- 後藤玲子『正義の経済哲学:ロールズとセン』東洋経済新報社、2002年.
- 宇佐美 誠『決定』東京大学出版会、2000年.

2. 論文(*はレフェリーつきジャーナル)

- *Suzumura, K., "Welfare Economics beyond Welfarist-Consequentialism," *Japanese Economic Review*, 51, 2000, pp.1-32.
- *鈴村興太郎・吉原直毅「責任と補償:厚生経済学の新しいパラダイム」『経済研究』51(2), 2000 年4月、pp.162-184.
- 鈴村興太郎「厚生経済学の情報的基礎:厚生主義的帰結主義・機会の内在的価値・手続き的衡平性」岡田章・神谷和也・黒田昌裕・伴金美(編)『現代経済学の潮流 2000』東洋経済新報社、2000年、pp.3-42.
- 鈴村興太郎「現代経済学のなかの福祉」日本福祉大学評論誌『NFU』54、2000年、pp.1-24.
- *<u>参村興太郎・後藤玲子「アマルティア・センの経済学と倫理学」『経済研究』52(3)、2001 年、pp.220-230.</u>
- *Suzumura, K., "Pareto Principles from Inch to Ell," Economics Letters, 70, 2001, pp.95-98.
- *Amsden, A. & Suzumura, K., "An Interview with Miyohei Shinohara: Nonconformism in Japanese Economic Thought," *Journal of the Japanese and International Economies*, 15, 2001, pp.341-360.
- *Suzumura, K. & Xu, Y., "Characterizations of Consequentialism and Non-Consequentialism," *Journal of Economic Theory*, 101, 2001, pp.423-436.
- *鈴村興太郎「世代間衡平性の厚生経済学」『経済研究』53(3)、2002 年 7 月、pp.193-203.
- 鈴村興太郎「社会的選択と厚生経済学:最近の動向とその意義」『日本経済研究センター会報』 2001 年 10 月号 ~ 2002 年 9 月号.
- *Bossert, W., Sprumont, Y., & Suzumura, K., "Upper Semicontinuous Extensions of Binary Relations," *Journal of Mathematical Economics*, 37, 2002, pp.231-246.
- 鈴村興太郎「社会的選択の観点からみた【公】【私】問題」佐々木毅・金泰昌編『経済からみた公 私問題』(シリーズ『公共哲学』第6巻)東京大学出版会、2002年、pp.39-71.
- 鈴村興太郎「センの潜在能力理論と社会保障」『海外社会保障研究』第 138 号、 2002 年、

- pp.23-33.
- 鈴村興太郎「電子社会と市場経済 II:情報的効率性・手続き的衡平性・公共的情報倫理」辻井 重男編「電子社会の展望』新生社、2002年、PP.81-101.
- *Suzumura, K. & Xu, Y., "On Constrained Dual Recoverability Theorems," *Mathematical Social Sciences*, 45, 2003, pp.155-166.
- *Suzumura, K. & Xu, Y., "Consequences, Opportunities, and Generalized Consequentialism and Non-consequentialism," *Journal of Economic Theory*, 111, 2003, pp.293-304.
- *<u>鈴村興太郎・篠塚友一「世代間衡平性への公理主義的アプローチーー展望」『経済研究』第55</u> 巻第1号、pp.51-71、2004 年 1 月.
- *Suzumura, K. & Xu, Y., "Welfarist-Consequentialism, Similarity of Attitudes, and Arrow's General Impossibility Theorem," *Social Choice and Welfare*, pp.237-251, 2004.
- *Suzumura, K. & Xu, Y., "Recoverability of Choice Functions and Binary Relations: Some Duality Results," *Social Choice and Welfare*, pp.21-37, 2004.
- 鈴村興太郎「厚生経済学の系譜 ピグーの【旧】厚生経済学からセンの福祉の経済学まで 」吉田雅明編『経済思想:経済学の現在2』日本経済評論社、2005年.
- <u>鈴村興太郎・蓼沼宏一「地球温暖化抑制政策の規範的基礎」清野・新保編『地球環境保護への</u>制度設計』東京大学出版会、近刊.
- *Suzumura, K., Bossert, W. & Sprumont, Y., "Consistent Rationalizability," forthcoming in *Economica*.
- *Suzumura, K., Fleurbaey, M. & Tadenuma, K., "The Informational Basis of the Theory of Fair Allocation," forthcoming in *Social Choice and Welfare*.
- *Suzumura, K., Fleurbaey, M. & Tadenuma, K., "Arrovian Aggregation in Economic Environments: How Much Should We Know About Indifference Surfaces?" forthcoming in *Journal of Economic Theory*.
- *Suzumura, K., Bossert, W. & Sprumont, Y., "Rationalizability of Choice Functions on General Domains Without Full Transitivity," forthcoming in *Social Choice and Welfare*.
- *Suzumura, K., "An Interview with Paul Samuelson: Welfare Economics, "Old" and "New", and Social Choice Theory," forthcoming in *Social Choice and Welfare*.
- *Suzumura, K., Soubeyram, A. & S.Weber, "Competition, Regulation and Welfare in the Presence of Network Externalities," forthcoming in Japanese Economic Review.
- *Tadenuma, K., "Efficiency First or Equity First? Two Principles and Rationality of Social Choice," *Journal of Economic Theory*, 104, 2002, pp.462-472.
- *蓼沼宏一「地球温暖化緩和への国際交渉 ゲーム論的分析 」『経済研究』55(1), pp. 26-37、2004 年1月.
- *Tadenuma, K., "Egalitarian-Equivalence and the Pareto Principle for Social Preferences," forthcoming in *Social Choice and Welfare*.
- *Hori, H., "Non-Paternalistic Altruism and Utility Interdependence," *Japanese Economic Review*, 52, 2001, pp. 137-155.
- 堀 元「利他性と効用相互依存」『現代経済学の潮流 2001』東洋経済新報社、 2001 年.
- 西沢保「戦前のイギリスにおける経営人材の育成と高等教育」青木昌彦他編『大学改革: 課題と 争点』東洋経済新報社、 2001 年、pp.91-115.

- *Nishizawa, T., "Alfred Marshall on Human Capital and Future Generations," *Economic Review*, 53(4), October 2002, pp.305-321.
- Nishizawa, T., "Lujo Brentano, Alfred Marshall es Tokuzo Fukuda", in *Tantoertenet es Koezgazdasagtudomany*. *Unnepidolgozatok Matyas Antal professzor*, ed. by Bekker Zsuzsa, Aula Kiado Kft, Budapest, 2003, pp.313-31 (Matyas Antal教授記念論文集).
- *Nishizawa, T., "The Economics Tripos and the Marshallian School in the Making -- With Special Reference to His Industrial Economics", 『経済研究』55-4、2004年10月、pp.358-78.
- 西沢保「福田徳三の経済思想 厚生経済・社会政策を中心に 」『一橋論叢』132-4、 2004年10 月、pp.1-29.
- *須賀晃一「環境倫理への公理的接近 厚生主義的道徳原理と環境問題 」『早稲田政治経済 学雑誌』349、2002 年、pp.182-204.
- *須賀晃一「外部性を伴うアロー = ダスグプタ経済におけるマキシミン経路」 『経済研究』 55(1)、 2004年1月.
- *Skakibara, K. & Suga, K. "The State of Nature and Property Rights Systems," *Waseda Journal Political Science and Economics*, Vol.355, 2004, April.
- *長久領壱·須賀晃一「道徳原理への公理的接近」『早稲田政治経済学雑誌』第356号、 2004年7 月.
- *Gotoh, R., "The Capability Theory and Welfare Reform," *Pacific Economic Review*, 6, 2001, pp.211-222.
- 後藤玲子「個人の自立と社会保障」、 国立社会保障人口問題研究所編『社会保障と世代・公正』東京大学出版会、 2002 年 2 月、 pp89-108.
- 後藤玲子「ジョン·ローマーの機会の平等アプローチ」『海外社会保障研究』138、 2002、pp.43-54.
- 後藤玲子「合理的な愚か者を越えて:個人的評価の多層化」佐々木毅・金泰昌編『21世紀の公 共哲学宣言』公共哲学第10巻、東京大学出版会、2002年7月、pp.165-193.
- 後藤玲子「福祉国家と規範理論:序論」『季刊社会保障研究』 38(2)、 2002 年 9 月、 pp.100-104.
- 後藤玲子・阿部彩「アメリカ合衆国」中村優一・阿部志朗・一番が瀬康子編『世界の社会福祉年鑑 2002』 旬報社、2002 年、pp.283-320.
- 後藤玲子「多元的民主主義と公共性」山口定編『新しい公共性を求めて』有斐閣、 2003 年、pp.107-130.
- 後藤玲子「アマルティア・セン 個人の主体性と社会性・公共性のバランス」『人間会議』宣伝会議、2003 冬号、pp.30-34.
- 後藤玲子「ニーズ基底的相互提供システムの構想」斉藤純一編『シリーズ 福祉国家の行方 第 5巻』ミネルヴァ書房、pp.187-207、2004年3月。
- 後藤玲子「公的扶助研究の基本的視座」『季刊社会保障研究』36(1), pp.350-353, 2004 年 3 月.
- 後藤玲子「現代日本社会における < 必要 > とは: 福祉に関する意識調査より」『季刊社会保障研究』36(1), pp.389-402, 2004 年 3 月.
- 後藤玲子(書評論文)若松良樹『センの正議論』ホセ・ヨンパルト・三島淑臣・長谷川晃編『法の理論 23』成分堂、2004 年 7 月、pp.185-204.
- *Gotoh, R., "Well-Being Freedom and The Possibility of Public-Provision Unit in Global Context," *Ethics and Economics*, vol.2, 2004.

- 後藤玲子「リスクに抗する福祉とは」橘木俊詔編著『リスク社会を生きる』岩波書店、 2004年12月. 後藤玲子・阿部彩「アメリカ合衆国」仲村優一・阿部志朗・一番が瀬康子編『世界の社会福祉年鑑
- 後藤玲子「社会保障と福祉国家のゆくえ」川本隆史編『応用倫理学講義 4 経済』岩波書店、 2005 年 5 月刊行予定.

2003』旬報社、2004年12月。

- *Yoshihara, N., "A Characterization of Natural and Double Implementation in Production Economies," *Social Choice and Welfare*, 17(4), 2000, pp.571-599.
- *吉原直毅「マルクス派搾取理論再検証: 70年代転化論争の帰結」『経済研究』52(3)、 2001 年 7 月、pp.253-268.
- *吉原直毅「自由主義的権利のゲーム理論的分析」『経済研究』 54(1)、 2003 年 1 月、 pp.1-18.
- 吉原直毅「分配的正義の経済理論:責任と補償アプローチ」「経済学研究」(北海道大学)53(3)、pp373-401、2003 年 12 月.
- *Gotoh, R. & N. Yoshihara, "A Class of Fair Distribution Rules a la Rawls and Sen," *Economic Theory*, 22(1), 2003, pp. 63-88.
- *Yoshihara, N., "Characterizations of Bargaining Solutions in Production Economies with Unequal skills," *Journal of Economic Theory*, 108, 2003, pp. 256-285.
- 吉原直毅「アマルティア・センと社会的選択理論」『アマルティア・センの世界』 絵所秀紀・山崎幸治編、晃洋書房、 2004 年 5 月.
- *後藤玲子·吉原直毅「「基本所得」政策の規範的経済理論」-「福祉国家」政策の厚生経済学序 説『経済研究』55(3)、pp.230-244、2004 年.
- 吉原直毅「『福祉国家』政策の規範的経済理論:その可能性についての一試論」 『経済セミナー』 No. 597、 2004 年 10 月号、 pp. 28-33.
- *Gotoh, R., Suzumura, K. & Yoshihara, N., "Extended Social Ordering Functions for Rationalizing Fair Game Forms in the sense of Rawls and Sen," *International Journal of Economic Theory*, Vol.1, 2005, pp.21-41.
- 森村 進「リバタリアニズムという非政治的政治思想」『大航海』40 号、 2001 年 10 月号.
- 森村 進「書評:長谷川 晃『公正の法哲学』」「法の理論』 2001年 12月.
- 森村 進「21 世紀初頭のロック所有論」『一橋法学』4(1)。 2005 年 3 月.
- *Morimura, S., "The Nature of Obligations to Future Generation," Proceedings of the 21th IVR World Congress (ARSP Beiheft Nr.95), 2004, pp.163-8.
- 長谷川晃「<競争的繁栄>と知的財産法原理」知的財産法政策学研究、3 号、pp.17-34、2004年。
- 長谷川晃「仮想的保険と倫理的リベラリズム」法の理論、23 号、 pp.13-36、 2004 年。
- Hasegawa, K., "Human Well-being and Public Provision", 北大法学論集、54(6)、 pp.404-432, 2004年。
- 長谷川晃「ロナルド・ドゥオーキンの倫理的責任論」鈴村興太郎・後藤玲子編『福祉の公共哲学』 東京大学出版会、pp.121-139、2004年。
- 長谷川晃「市場における法的正義とは何か」法律時報、75(1)、 P.25-29, 2003年。
- 長谷川晃「多元的自我とリベラルな法共同体」佐々木毅・金泰昌編『公共哲学<10>21 世紀公共 哲学の地平』東京大学出版会、pp.221-244、2002年。
- 長谷川晃「カール・ポパーのリベラリズム」ポパー哲学研究会編『批判的合理主義<2>応用的諸問

- 題』未来社、pp.221-244、2002年。
- 長谷川晃「公正な法とその公共性」早稲田大学政治経済学雑誌、357号、2004年、23-37頁。
- 長谷川晃「法と市場の間」吉田克己・稗貫俊文編「競争法の現代的諸相」 2005年3月。
- *Bossert, W., "Choice, Consequences, and Rationality," Synthese, 129, 2001, pp.343-369.
- *Sprumont, Y., "Paretian Quasi-orders: The Regular Two-Agent Case," *Journal of Economic Theory*, .101, 2001, pp.437-456.
- 西條辰義「制度設計に実験研究を導入しよう」「経済産業ジャーナル」2001年1月.
- 西條辰義 「地球温暖化と京都議定書」 2001 年秋 No.4 『Ehime Center for Policy Research』 (えひ め地域政策研究センター編集)、 pp.11-18.
- 西條辰義「京都議定書と欧日米の地球環境戦略」『エコノミックス』No.6, pp.138-47, 2001 年.
- *Hizen, Y. & Saijo, T., "Designing GHG Emissions Trading in Institutions in the Kyoto Protocol: An Experimental Approach," *Environmental Modelling & Software*, Vo.16, 2001, pp.533-543.
- *Hizen, Y. & Saijo, T., "Price Disclosure, Marginal Abatement Cost Information and Market Power in a Bilateral GHG Emissions Trading Experiment," *Experimental Business Research*, Boston: Kluwer Academic Publishers, 2002, pp.231-251.
- Kusakawa, T. and Saijo, T., "Emissions Trading Experiments: Investment Uncertainty and Liability," Andrea E. Rizzoli and Anthony J. Jakeman (eds.), Integrated Assessment and Decision Support: Proceedings of the First Biennial Meeting of the International Environmental Modelling and Software Society, Vol.2, pp.454-459, iEMSs, 2002.
- 西條辰義「風力エネルギーへの期待: RPSと固定価格買い取り制度」「風力エネルギー」26(1), 2002年3月.
- 饗場崇夫·西條辰義「京都議定書の批准にむけて」『経済セミナー』2002年4月、 pp.40-44.
- 西條辰義·山田典一·大和毅彦「いじわる」は協力の源泉になりえるのか?」『遺伝』56(3)、2002 年5月.
- 西條辰義「京都議定書と国内制度設計」『エネルギーレビュー』2002 年 6 月、 pp.40-43.
- 西條辰義·安本晧信「広く薄い炭素税では失敗する」『エネルギーフォーラム』2002 年 7 月、pp.56-58.
- 西條辰義「CO2削減策設計慎重に:新たな既得権益生む恐れ」日本経済新聞「時論」 2002 年 11月 30日
- 西條辰義「制度設計工学序説:排出権取引を事例として」『エコ?フォーラム』21(3)、 2003 年 2 月 号、 pp.4-19.
- Okano, T., Kusakawa, T., Saijo T. and Suzuki, A., "Agent-based Simulation of Emissions Trading: Evaluation of Non-compliance Penalty and Commitment Period Reserve," D. A. Post (ed.), *MODSIM 2003 Volume 3: Socio-Economic Systems*, pp.1107-1112, Modelling and Simulation Society of Australia and New Zealand Inc., July 2003.
- * Hamaguchi Y., Saijo, T. and Mitani, S., "Does the Varian Mechanism Work?: Emissions Trading as an Example," *International Journal of Business and Economics* 2(2), August 2003, pp.85-96.
- Aiba, T. and Saijo, T., "The Kyoto Protocol and Global Environmental Strategies of the EU, the U.S. and Japan: A Perspective from Japan," in *International Frameworks and Technological Strategies to Prevent Climate Change*, (ed.), T. Sawa, Springer-Verlag, pp.22-44, 2003.
- Kusakawa, T. and T. Saijo, "Emissions Trading Experiments: Investment Uncertainty Reduces

- Market Efficiency," in *International Frameworks and Technological Strategies to Prevent Climate Change*, (ed.), T. Sawa, Springer-Verlag, pp.45-65, 2003.
- * Saijo, T., Yamato, T., Yokotani, K.and Cason, T., "Non-Excludable Public Good Experiments," Games and Economic Behavior, 49(1), pp.81-102, 2004.
- *Brandts, J., Saijo, T. and Schram, A. "How universal is behavior? A Four Country Comparison of Spite, Cooperation and Errors in Voluntary Contribution Mechanisms," *Public Choice*, 119 (3-4): 381-424, June 2004.
- 西條辰義「京都議定書と整合的な国内制度は排出権取引」『環境会議秋号』2004 年 9 月、pp.106-7.
- 西條辰義「デザイン・サイエンス序説:今、 何が問題なのか」『経済セミナー』2004年11月号、pp.36-41.
- *Saijo, T., "Spiteful Behavior in Voluntary Contribution Mechanism Experiments," forthcoming in *Handbook of Experimental Results*, eds., Charles Plott and Vernon Smith.
- *Shinotsuka, T. & Takamiya, K., "The Weak Core of Simple Games with Ordinal Preferences: Implementation in Nash Equilibrium," *Games and Economic Behavior* 44, pp.379-389, 2002.
- Shinotsuka, T., "Additivity, Bounds, and Continuity in Budget Distribution Problems," in Proceedings of the Second International Conference on Nonlinear and Convex Analysis, pp.463-469, Yokohama Publisher, 2003.
- Shinotsuka, T., "Interdependent Utility in an Intergenerational Context," in Proceedings of the Second International Conference on Trade, Growth and General Equilibrium, pp.1-10, 2004.
- Usami, M., "Retroactive Justice: Trials for Human Rights Violations under a Prior Regime," in Burton M. Leiser and Tom D. Campbell, eds., *Human Rights in Philosophy and Practice*, Aldershot: Ashgate, 2001, pp. 423-442.
- 宇佐美 誠「市場と国家の再定位」日本法哲学会編『法哲学年報 2000』有斐閣、2001 年、pp.67-83.
- *宇佐美 誠「裁判官倫理としての司法権の独立:大阪国際空港公害訴訟最高裁判決の再読」 『法律時報』75(8)、 2003 年、 pp.26-32.
- *宇佐美 誠「真実究明と被害補償:南アフリカの事例」『法律時報』76(1)、 2004 年、pp.72-76.
- *宇佐美 誠「将来世代・自我・共同体」『経済研究』55(1)、 2004 年、 pp.1-14.
- *宇佐美 誠「公共性の構図・序説」『早稲田政治経済学雑誌』357号、2004年、pp.63-80.

3. 学会報告·研究会報告

- Suzumura, K., "Constitutional Democracy and Public Judgements," paper presented at the Conference in Honour of Amartya Sen held at the Center for Interdisciplinary Research, University of Bielefeld, Germany, June 21-23, 2001.
- 鈴村興太郎・後藤玲子「立法的民主主義と個人の公共的判断」日本経済学会・秋期全国大会、 2001 年 10 月7日.
- Suzumura, K., "Recoverability of Choice Functions and Binary Relations: Some Duality Result," The Sixth International Meeting of the Society for Social Choice and Welfare, July, 2002.
- Nishizawa, T., "Economics Tripos and the Marshallian School of Economics in the Making: Future

- of Economics 100 Years Ago": Paper presented at Cambridge Journal of Economics Conference on 'Future of Economics', Celebrating 100 years of Cambridge Economics, Cambridge (UK), 17-19 September 2003.
- Nishizawa, T., "Economics Tripos and the Marshallian School of Economics in the Making: in particular reference to his industrial economics": Paper presented at the Workshop on Cambridge School of Economics, Hitotsubashi University, 6-7 December 2003.
- Nishizawa, T., "Alfred Marshall and W.J. Ashley on Education of Businessmen and 'Science of Business'": Paper for the 8th Conference of the European Society of History of Economic Thought, Treviso, Italy, 26-29 February 2004.
- Nishizawa, T., "Alfred Marshall on Economic Progress and Social Welfare", Paper presented at the Workshop 'Cambridge School of Economics: Welfare Economics and the Welfare State", Feb. 26-27th, 2005, Hitotsubashi University.
- Tadenuma, K., "Envy-Free Configurations in the Market Economy," 筑波サマーワークショップ、2001 年 8 月.
- Tadenuma, K., "The Fundamental Theorems of Welfare Economics in a Non-Welfaristic Approach," The Sixth International Meeting of the Society for Social Choice and Welfare, July, 2002.
- Fleurbaey, M., Suzumura, K. and Tadenuma, K., ``The Informational Basis of the Theory of Fair Allocation,' 早稲田大学現代政治経済研究所研究会、 2003 年 2 月 5 日.
- 蓼沼宏一「地球温暖化緩和への国際交渉 ゲーム論的分析 」一橋大学経済研究所定例 研究会、 2003 年 10 月 15 日.
- Tadenuma, K., ``International Negotiations for Reducing Greenhouse Gases with Emission Permits Trading." 第 27 回 GLOPE ワークショップ「協力ゲーム理論と経済分析」早稲田大学、2004年3月3日.
- Tadenuma, K., "International Negotiations for Reducing Greenhouse Gases with Emission Permits Trading," The Conference on Welfarist and Non-Welfarist Approaches to Public Economics, University of Ghent, Belgium, March 17-18, 2004.
- Morimura, S., "The Nature of Obligations to Future Generation," IVR第21回世界会議.2003年8月 12-17日、スウェーデン、ルンド大学.
- 長谷川晃「<均しい自由>の規範伝統」関西大学重点領域研究 < 規範学の再構築 > 研究会報告、 2003 年 12 月。
- 長谷川晃「公正な法とその公共性 -- 一つの素描--」早稲田大学政経学部 21 世紀 COE<開かれた政治経済制度の構築>コンファレンス報告、2004 年 3 月。
- 長谷川晃「規範・時間・価値」科研特定領域研究<地球温暖化問題をめぐる世代間衡平性と負担 原則> 研究会報告、2004 年 6 月。
- 長谷川晃"Human Well-being and Public Provision"第7回国際社会選択・福祉学会(分配的正義セッション)報告、2004年7月。
- 長谷川晃「法と市場の間」北大科研基盤 A 研究会<競争秩序への多元的アプローチ>報告、2004年 10月。
- 長谷川晃「<法と市場の間>再考」一橋大学経済研究所現代規範理論研究会報告、2004 年 10月。

- 長谷川晃「共通善・公共善・私的善」第 56 回公共哲学京都フォーラム<将来世代・自他・公共世界>発題、2004 年 11 月。
- 長谷川晃「共通善・時間・責任」科研特定領域研究<地球温暖化問題をめぐる世代間衡平性と負担原則> 研究会報告、2005 年 1 月。
- 長谷川晃"Human Well-being, Public Provision, and Market"横浜国立大学国際社会科学研究科 <分配的正義の経済理論・政治思想および政策>招聘研究会報告、2005 年 2 月。
- Hori, H., "Environmental Dynamics in an Altruistic Overlapping Generations Model," Symposium on Intergenerational Equity, held at Hitotsubashi University, February 2004.
- Hori, H., "Environmental Dynamics in an Altruistic Overlapping Generations Model," The Seventh International Meeting of the Society for Social Choice and Welfare, Osaka University, July 2004.
- 堀 元「利他的重複世代経済における環境質の動学」「世代間利害調整」プロジェクトA1班・シンポジウム、一橋大学、2005年1月29-30日.
- 須賀晃一「制度の政治経済学 国家の経済分析 」日本選挙学会、2003年5月18日.
- Suga, K., "On Maximin Paths in Arrow-Dasgupta Economy," 3rd International Symposium on Intergenerational Equity, Hitotsubashi University, 2004, February.
- 須賀晃一「政治体制転換のゲーム理論的分析」第40回GLOPEワークショップ、 早稲田政治学会 共通シンポジウム、 2004年5月14日、 早稲田大学.
- Suga, K., "Axiomatic Characterization of the Maximin Principle in the Arrow-Dasgupta Economy," 第66回GLOPEワークショップ、2004年7月7日、早稲田大学.
- Suga, K., "Axiomatic Characterization of the Maximin Principle in the Arrow-Dasgupta Economy," The Seventh International Meeting of the Society for Social Choice and Welfare, July, 2004, Osaka University.
- 後藤玲子「正義とケア: 個別性の観点に基づ〈公共的ルールの形成」 埼玉大学経済学部学術講演会、2002 年 11 月 27 日.
- 後藤玲子 "Understanding Sen's Idea of a Coherent Goals-Rights System in the Light of Political Liberalism,"立命館大学大学院先端総合学術研究科開設記念国際シンポジウム「21世紀の公共性に向けて-セン理論の理論的・実践的展開」、2003年6月.
- Gotoh, R., "Well-Being Freedom and The Possibility of Public-Provision Unit in Global Context," 3rd Conference on the Capability Approach: From Sustainable Development to Sustainable Freedom, 7-9 September 2003-University of Pavia, Italy(セン理論に関する国際学会).
- 後藤玲子「アマルティア・センと経済倫理」「開発とケイパビリティー研究会」ワークショップ、 山口 大学東南アジア研究所、 21 November 2003.
- 後藤玲子「規範理論の整合化と重層的福祉保障システムの構想」社会政策セミナー、 2003 年 12月6日(上智大学)
- 後藤玲子「『公共』政策がなぜ必要なのか」「現代国家論」分科会(講師)、 第25回国際学生シンポジウム、 2003 年 12 月 13 日、 国立オリンピック記念青少年総合センター.
- Gotoh, R., "Towards International Equity a la Rawls and Sen: Ideal Social Contract based on Open Impartiality," Symposium on Intergenerational Equity, 28-29 February 2004, at Graduate School of International Corporate Strategy, Hitotsubashi University.
- 後藤玲子「規範理論の整合化に関する公理的分析」文部科学省特定領域研究プロジェクト「地球

- 温暖化問題を巡る世代間衡平性と負担原則」研究会(於:一橋大学)、2004年5月29日。
- Gotoh, R., "The Possibility of Public-Provision Unit in Global Context--- Towards "Social Contract" based on Reciprocity ---," Social Choice & Welfare Society, 2004, July 21-25 at Osaka University.
- Gotoh, R., "Understanding Sen's Idea of a Coherent Goals-Rights System in the Light of Political Liberalism," 4th International Conference on the Capability Approach: Enhancing Human Security, 5th-7th September 2004, University of Pabia, Italy.
- 後藤玲子「パネル 高福祉・高負担か低福祉・低負担か」日本経済学会 2004 年秋季大会、 2004 年 9 月 15 日、 岡山大学。
- Gotoh, R., "The Possibility of Public-Provision Unit in Global Context--- Towards "Social Contract" based on Reciprocity ---," International Seminar of Political Science: Reconsidering Rawls and Sen in the light of Against Injustice held at Ritsumeikan University, November 6, 2004.
- 後藤玲子「ロールズ正議論」における世代間正義とは:社会契約論再考、文部科学省特定領域研究プロジェクト「地球温暖化問題を巡る世代間衡平性と負担原則」研究会(於:一橋大学)、 2004年12月18日。
- 後藤玲子「世代間正義の原理とその制定手続き:ロールズ社会契約論再考」世代間利害調整プロジェクト A1 班・シンポジウム、2005 年 1 月 29-30 日。
- Gotoh, R., "Towards a "Social Contract" based on Reciprocity," an Occasional Seminar of Global Equity Initiative, at Kresge Room Barker Holl, Harvard University, March 30th, 2005.
- Yoshihara, N., "On Efficient and Procedurally-Fair Equilibrium Allocations in Sharing Games," The International Conference of the Society for Economic Design (Istanbul) 2000 年 6 月.
- Yoshihara, N., "Characterizations of Bargaining Solutions in Production Economies with Unequal Skills," The 5th International Meeting of the Society for Social Choice and Welfare (University of Alicante) 2000 年 7 月.
- Yoshihara, N., "Characterizations of Bargaining Solutions in Production Economies with Unequal Skills," The 1st World Congress of Game Theory Society (Bilbao) 2000 年 7 月.
- Yoshihara, N., "Existence of Social Ordering Functions Which Embody Procedural Values and Consequential Values," Workshop on Distributive Justice, Yale University, April 2002.
- Yoshihara, N., "Axiomatic Bargaining Theory in Production Economies: Responsibility and Compensation Viewpoints," The Second International Workshop of Cooperative Games, University of Twente, Netherland, June 2002.
- Yoshihara, N., "A Mechanism Design for a Solution to the Tragedy of Commons," The Second International Conference of the Society for Economic Design New York University, June 2002.
- Yoshihara, N., "On Libertarian Rights Assignments," The Sixth International Meeting of the Society for Social Choice and Welfare, July, 2002.
- Yoshihara, N., "Existence of Social Ordering Functions Which Embody Procedural Values and Consequential Values," Microeconomics Seminar, University of Montreal, September 2002.
- Yoshihara, N., "A Mechanism Design for a Solution to the Tragedy of Commons," Microeconomics Seminar, Windosor University, December 2002.

- Yoshihara, N., "Existence of Social Ordering Functions Which Embody Procedural Values and Consequential Values," Workshop on Microeconomic Theory, Rutgers University, December 2002.
- Yoshihara, N., "Existence of Social Ordering Functions Which Embody Procedural Values and Consequential Values," The 2003 Annual meetings of the Public Choice Society and Economic Science Association, Nashville, 2003 年 3 月.
- Yoshihara, N., "A Mechanism Design for a Solution to the Tragedy of Commons," Microeconomics Seminar, Georgia State University, 2003 年 3 月.
- Yoshihara, N., "On the Libertarian Assignments of Individual Rights," The 3rd International Conference on Logic, Game Theory and Social Choice, Siena, 2003 年 9 月.
- Yoshihara, N., "On Recent Development in Game Theoretic Approach to Individual Rights," The 10th Osunabulk Seminar on Individual Decision and Social Choice, Osnabulk University, 2003 年 9 月.
- Yoshihara, N.,"On Recent Development in Game Theoretic Approach to Individual Rights," 早稲 田大学政治経済学部 Glope ワークショップ、2003 年 12 月.
- Yoshihara, N., "Intergenerational Efficiency, Equity, and Sustainability under Global Warming," International Symposium on Intergenerational Equity, Hitotsubashi University, 2004 年 2 月.
- Yoshihara, N.,"On the Libertarian Assignments of Individual Rights," The 2004 Annual meetings of the Public Choice Society and Economic Science Association, Batimore, 2004 年 3 月.
- Yoshihara, N., "Triple Implementation in Production Economies with unequal skills by Sharing Mechanisms," The Second World Congress of the Game Theory Society, Marseille (France), 2004 年 7 月.
- Yoshihara, N., "Imperialist Policies v.s. Welfare States Policies," The Seventh International Meeting of the Society for Social Choice and Welfare, Osaka University, July, 2004.
- Yoshihara, N., "Imperialist Policies v.s. Welfare States Policies," Public Economic Theory 04 Peking, Peking, 2004 年 8 月.
- Yoshihara, N., "A New Insight into Three Bargaining Solutions in Convex Problems ," Game Theory and Mathematical Economics 2004, Warszawa , 2004 年 9 月.
- Yoshihara, N., "Extended Social Ordering Functions for Rationalizing Fair Game Forms in the sense of Rawls and Sen," Thoery Seminar, University of California, Davis, 2004 年 11 月.
- Yoshihara, N., "Triple Implementation in Production Economies with Unequal Skills by Sharing Mechanisms," VALDES Game Theory Seminar, Tokyo Institute of Technology, 2005 年 2 月.
- Shinotsuka, T., (2001), "Equity among Generations" The First International symposium on Intergenerational Equity, Hitotsubashi University, 2002.
- Shinotsuka, T., (2001), "Additivity, Bounds, and Continuity in Budget Distribution Problems", 東京工業大学 VALDES ゲーム理論セミナー、2001年1月.
- Shinotsuka, T., (2001), "Additivity, Bounds, and Continuity in Budget Distribution Problems" The Second International Conference on Nonlinear and Convex Analysis, Hirosaki University, August, 2001.
- Shinotsuka, T., "Interdependent Utility in an Intergenerational Context" The Sixth International Meetings of the Society for Social Choice and Welfare, July 2002.

- Shinotsuka, T., "Intergenerational Equity: A Survey" The Second International symposium on Intergenerational Equity, Hitotsubashi University, 2002
- Shinotsuka, T., "Interdependent Utility in an Intergenerational Context," 京都大学経済研究所ミクロ経済学・ゲーム理論研究会、2003 年 6 月.
- Shinotsuka, T., "Interdependent Utility in an Intergenerational Context," 神戸大学経済経営研究 所 RIEB セミナー、2003 年 10 月.
- Shinotsuka, T., (2003), "Axiomatic Approaches to Intergenerational Equity" The Second International symposium on Intergenerational Equity, Hitotsubashi University, 2004
- Shinotsuka, T., "Interdependent Utility in an Intergenerational Context," 京都大学経済研究所ゲーム理論研究会(2003年6月), 神戸大学経済研究所 RIEB セミナー(2003年11月)、および京都大学21COE・特別推進研究 国際シンポジウム「貿易・成長・一般均衡」(2004年2月)にて報告.
- Shinotsuka, T., "Interdependent Utility in an Intergenerational Context", The Second International Conference on Trade, Growth and General Equilibrium, Kyoto University, February, 2004.
- Suzumura, K. and Shinotsuka, T., "On the Possibility of Continuous, Paretian and Egalitarian Evaluation of Infinite Utility Streams", The Seventh International Meetings of the Society for Social Choice and Welfare, July 2004.
- Shinotsuka, T., "Intergenerational Equity, Egalitarianism and Sustainability" The Third International symposium on Intergenerational Equity, Hitotsubashi University, 2004.
- Shinotsuka, T., "Intergenerational Equity, Egalitarianism and Sustainability," 世代間衡平性に関する国際ワークショップ(学術総合センター)、2004.
- 宇佐美 誠「将来世代·自我·共同体」一橋大学経済研究所定例研究会、一橋大学、2003 年 10 月.
- 宇佐美 誠「将来世代をめぐる政策と自我」第 56 回公共哲学京都フォーラム「将来世代・自他・公 共世界」リーガロイヤルホテル京都、2004 年 11 月.
- 西條辰義 "Emergence of Cooperation: Is Spitefulness a Source of Cooperation?" 第 17 回京都賞記念ワークショップ基礎科学部門シンポジウム「進化とゲーム」(財)稲盛財団、2001 年 11 月 12 日.
- 西條辰義「「GHGバンク」構想」(財)日本エネルギー経済研究所、2002 年 1 月 30 日、定例研究 会での講演.
- 西條辰義「Gバンク構想:望ましい制度設計とは何か」富士総研主催「京都議定書と京都メカニズムを考えるシンポジウム」May 30, 2002.
- 西條辰義「地球温暖化対策の国内制度設計:炭素税 vs 排出権取引」「地球環境技術推進懇談会 10 周年記念シンポジウム」2003 年 10 月 15 日.

4 . Discussion Papers

- 鈴村興太郎·蓼沼宏一「地球温暖化抑制政策の規範的基礎」PIE DP-1、 2000 年 11 月 .
- Suzumura, K. and Xu, Y., "Characterizations of Consequentialism and Non-consequentialism," PIE DP-3, December 2000.
- Suzumura, K. and Xu, Y., "Welfarist-Consequentialism, Similarity of Attitudes, and Arrow's General Impossibility Theorem," PIE DP-4, December 2000.

- Suzumura, K. and Xu, Y., "Consequences, Opportunities, and Generalized Consequentialism and Non-consequentialism," PIE DP-5, December 2000.
- Suzumura, K. and Xu, Y., "On ConstrainedDual Recoverability Theorems," PIE DP-123, October 2002.
- Suzumura, K. and Shinotsuka, T. "On the Possibility of Continuous, Paretian and Egalitarian Evaluation of Infinite Utility Streams," PIE DP-189, December 2003.
- Fleurbaey, M., Suzumura, K. and Tadenuma, K., "Informational Requirements for Social Choice in Economic Environments," PIE DP-2, November 2000.
- Fleubaey, M., Suzumura, K. and Tadenuma, K., "Arrovian Aggregation in Economic Environments: How Much Should WeKnow about Indifference Surfaces?" PIE DP-121, October 2002.
- Fleubaey, M., Suzumura, K. and Tadenuma, K., "The Informational Basis of the Theory of Fair Allocation," PIE DP-122, October 2002.
- 堀元「利他性と効用相互依存」PIE DP-19, 2001 年 3 月.
- Blackorby, C., Bossert, W. and Donaldson, D., "The Axiomatic Approach to Population Ethics," PIE DP-24, March 2001.
- Bossert, W., Sprumont, Y. and Suzumura., "Rationalizability of Choice Functions on General Domains Without Full Transitivity," PIE DP-28, May 2001.
- Bossert, W., Sprumont, Y., and Suzumura, K., "Consistent Rationalizability," PIE DP-82, April 2002.
- Bossert, W. and Sprumont, Y. and Suzumura, K., "Maximal-Element Rationalizability," PIE DP-124, November 2002.
- Tadenuma, K. and Xu, Y., "Envy-Free Configurations in the Market Economy," PIE DP-31, July 2001.
- Tadenuma, K. and Xu,Y., "The FundamentalTheorems of Welfare Economics in a Non-Welfaristic Approach," PIE DP-48, January 2002.
- Tadenuma, K. "Egalitarian-Equivalence and the Pareto Principle for Social Preferences," PIE DP-128, December 2002.
- Tadenuma, K. "International Negotiations for Reducing Greenhouse Gases with Emission Permits Trading," PIE DP-191. January 2004.
- Nussbaum, M., "Capabilities as Fundamental Entitlements: Sen and Social Justice," PIE DP-56, February 2002.
- Mookherjee, D. and Ray, D., "Persistent Inequality," PIE DP-57, February 2002.
- Aiba, T., and Saijo, T., "The Kyoto Protocol and Global Environmental Strategies of the EU, the U.S. and Japan: A Perspective from Japan," PIE DP-85, April 2002.
- Hizen, Y., Kusakawa, T., Niizawa, H., and Saijo, T., "Two Patterns of Price Dynamics were Observed in Greenhouse Gases Emissions Trading Experiments: An Application of Point Equilibrium," PIE DP-86, April 2002.
- Kusakawa, T., and Saijo, T., "Emissions Trading Experiments: Investment Uncertainty and Liability," PIE DP-87, April 2002.
- Hasegawa, K., "Environment as Common Good and Equality among Generations," PIE DP-98, July 2002.

- Gotoh, R., "Understanding Sen's Idea of a Coherent Goal-Rights System in the Light of Political Liberalism," PIE DP-139, March 2003.
- Gotoh R. & Suzumura, K., "Constitutional Democracy and Public Judgements," Discussion Paper Series A, No.416, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, October 2001.
- Gotoh, R., Suzumura, K. & Yoshihara, N., "Existence of Social Ordering Functions Which Embody Procedural Values and Consequential Values," Discussion Paper Series A, No.430, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, June 2002.
- Gotoh, R. "The Possibility of Public-Provision Unit in Global Context -- Towards 'Social Contract' based on Reciprocity--," JSPS Award For Eminent Scientists Discussion Paper Series No. 1, Ritsumeikan University, July 20-22, 2004.
- Suga, K., "On the Role of Externalities in the Arrow-Dasgupta Economy," Waseda University, September, 2003.
- Suga, K., & Udagawa, D. "Axiomatic Characterization of the Maximin Principle in the Arrow-Dasgupta Economy," Waseda University, March, 2005.
- Suga, K., "Characterization of the Maximin Choice Function in a Simple Dynamic Econom," Waseda University, March, 2005.
- Yoshihara, N., "On Efficient and Procedurally Fair Equilibrium Allocation in Sharing Games," Discussion Paper No.397, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, October 2000.
- Yoshihara, N., "Solidarity and Cooperative Bargaining Solutions," Discussion Paper No.409, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, March 2001.
- Yoshihara, N., Gotoh, R. and Suzumura, K., "On the Libertarian Assignments of Individual Rights," COE/RES Discussion Paper 14, Hitotsubashi University, December 2003.
- Yoshihara, N. and Xu, Y., "Nonconvex Bargaining Problems," IER Discussion Paper No. 454, Hitotsubashi University, March 2004.
- Yoshihara, N. and Xu, Y., "A New Insight into Three Bargaining Solutions in Convex Problems," IER Discussion Paper No. 453, Hitotsubashi University. March 2004
- 吉原直毅「再論: 70 年代マルクス派搾取理論再検証」IER Discussion Paper, No. 451, The Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, July 2004.
- Yoshihara, N. and Yamada, A., "A Mechanism Design for a Solution to the Tragedy of the Commons," Discussion Paper No.424, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, February 2002.
- Yoshihara, N. and Yamada, A., "Triple Implementation in Production Economies with Unequal Skills by Sharing Mechanisms," COE/RES Discussion Paper, No. 109, December 2004.
- Nishizawa, T., "Economics Tripos and the Marshallian School of Economics in the Making: Future of Economics 100 Years Ago" COE/RES Discussion Paper no.55, April 30, 2004.
- Shinotsuka, T. and Wilkie, S., "Optimal Multi-Object Auction", Discussion Paper No.78, Center for Business Creation, Otaru University of Commerce, 2002.
- Shinotsuka, T and Sumino, K., "A Note on Optimal Taxation in the Presence of Externalities", Discussion Paper No.99, Center for Business Creation, Otaru University of Commerce, 2005.

5.新聞発表等

鈴村興太郎·渡辺 努「政策の決定過程重視を」[経済教室]日本経済新聞、2004年 12月 28日 号。

後藤玲子「経済学の先にあるもの」京都新聞、2003年10月13日、夕刊.

宇佐美 誠「私法の公共性」『公共的良識人』154号、2004年、p.3.

宇佐美 誠「世代間関係から開かれる公共世界:制度のあり方と自他の関わり方」。公共的良識 人』158号、2005年、p.3.

西條辰義「温暖化ガス削減案:排出総量、輸入段階で管理」日本経済新聞、2002年2月27日.